

総務省承認 No. 23486	【基本指標番号】	【抽出区分】
承認期限 平成16年3月31日まで	取りまとめセンター等 農 家	経営組織 農業地域

秘 農林水産省

農業構造動態調査 農家調査票

(平成16年1月1日現在)

この調査は、農業を取り巻く諸情勢が著しく変化する中で、農家の農業生産構造及び就業構造の実態を把握し、これからの農政に必要な基礎資料とすることを目的として実施しています。

この調査から得られる調査結果は、外に漏らしたり課税等の資料には絶対にはいたしませんので、是非ありのままをお答えください。ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、記入には濃い黒えんぴつを使用し、下記の記入例を参考にしてください。

【○の記入例】

①	②
---	---

【数字記入例】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



記入は濃い黒えんぴつで

お宅の住所
世帯主の氏名
電話番号

調査員氏名：

電話番号：

本調査についてご意見・ご要望があればご記入ください。

【基本指標番号】

取りまとめセンター等	農 家

【1】世帯員

1 世帯員数について記入してください。

お宅の世帯員（一緒に生活している人）は何人ですか。

そのうち、満14歳以下の世帯員は何人ですか。
(平成元年1月1日以降に生まれた人)

現在、出稼ぎなどのために家にいなくても、ふだん一緒に生活している人は世帯員としてください。
進学や就業のためよそに住んでいる子弟は除いてください。

		男(人)	女(人)
前年	110		
本年	111		

		男(人)	女(人)
前年	120		
本年	121		

2 満15歳以上の世帯員（昭和63年12月31日までに生まれた人）

について記入してください。

なまえ (満15歳以上の人 (昭和63年12月31日 までに生まれた人) だけ記入します)	世帯員コード	年齢 (平成16年1月1日現在の満年齢)	同居している		男女別		世帯主との続柄	農業経営上の地位 (複数いる場合は代表者に○) 農業経営についての責任者 農業経営の責任者の配偶者 農業経営の後継者 (子定者を含みます) 農業経営の後継者 (子定者を含みます)	この1年間(平成15年1月~12月)の (日数の数え方は、1日8時間とし、) 自営農業に従事した日数 お宅で経営している農業への従事日数と農作業を請け負った日数及び受託組織の構成員としてオペレーター作業に従事した日数を合わせたものです。	
			平成15年1月1日現在	平成16年1月1日現在	男	女				1
①	②	③ (歳)	④	④	⑤	⑤	⑥	⑦	⑧	
			該当者を○で囲みます	どちらかを○で囲みます	該当者を○で囲みます	該当者を○で囲みます	該当者のみ一つを○で囲みます		一つを必ず○で囲みます	
			1	1	1	2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	
			1	1	1	2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	
			1	1	1	2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	
			1	1	1	2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	
			1	1	1	2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	
			1	1	1	2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	
			1	1	1	2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	

世帯員コード
世帯員コードは、集計の際に用いるコードですので変更しないでください。

年齢について
年齢が分からない場合は右上の年齢早見表をご覧ください。
99歳以上の人は、すべて99と記入してください。

(世帯主との続柄)

該当する番号を記入してください。

1	世帯主	5	兄弟姉妹
2	世帯主の配偶者	6	祖父母
3	子供(子供の配偶者を含む)	7	孫(孫の配偶者を含む)
4	親	8	その他(叔父母、従兄弟、甥姪等)

世帯上の地位について

農業経営についての責任者
男女を問わず、農業経営の全般について中心になっている人のことです。判断できない場合は、農業経営資金の借り主、農業共済・農業口座の名義人等とします。

農業経営の後継者
満15歳以上の者で、次の代に農業経営を継承することが確認されている者となります。

【満年齢早見表】(99歳以上の人は、すべて99と記入してください。)

90歳代		80歳代		70歳代		60歳代		50歳代		40歳代		30歳代		20歳代		10歳代	
生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢
明治37	99	大正2	90	大正13	79	昭和9	69	昭和19	59	昭和29	49	昭和39	39	昭和49	29	昭和59	19
38	98	3	89	14	78	10	68	20	58	30	48	40	38	50	28	60	18
39	97	4	88	15	77	11	67	21	57	31	47	41	37	51	27	61	17
40	96	5	87	昭和元	77	12	66	22	56	32	46	42	36	52	26	62	16
41	95	6	86	2	76	13	65	23	55	33	45	43	35	53	25	63	15
42	94	7	85	3	75	14	64	24	54	34	44	44	34	54	24		
43	93	8	84	4	74	15	63	25	53	35	43	45	33	55	23		
44	92	9	83	5	73	16	62	26	52	36	42	46	32	56	22		
45	91	10	82	6	72	17	61	27	51	37	41	47	31	57	21		
大正元	91	12	80	8	70	18	60	28	50	38	40	48	30	58	20		

働いた状況について記入してください。

(半日ずつ働いたら2日で1日とします。)

⑨ この1年間の生活の主な状態 (平成15年1月～平成15年12月)	⑩ その前1年間の生活の主な状態 (平成14年1月～平成14年12月)	【メモ欄】					
		【メモ欄】					
1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	⑪ 一つを必ず○で囲みます					
⑫ 一つを必ず○で囲みます		【メモ欄】					

⑨のいずれかに○印がある場合のみ記入します。

3 お宅では、家としての所得は自営農業と自営農業以外のどちらが主ですか。

(一つを○で囲みます。)

	自営農業	自営農業以外
前年	130	1 2
本年	131	1 2

4 お宅の農業経営を法人化していますか。

なお、農家以外の自営業や参加している協業経営体が法人になっている場合は該当しません。

(一つを○で囲みます。)

	法人化した ている	法人化し ていない
前年	140	1 2
本年	141	1 2

【基本指標番号】

取りまとめ センター等	農 家			

【2】 土地

記入上の注意

- ・この土地には、土地台帳の地目や面積ではなく、現在の地目と面積を記入してください。
- ・面積には、けい畔も含めた面積を記入してください。（設問5を除く。）
- ・他の市区町村にある土地も含めて記入してください。

1 田の面積を記入してください。

	前 年 (町) (反) (畝) ha a	本 年 (町) (反) (畝) ha a		
お宅で所有している田は (原野化したもの等、現況が農地でないものを除きます。)	211			
うち、他に貸している田は (経営を委託している田を含みます。)	212			
うち、耕作を放棄した田は (過去1年以上作付せず、 今後も作付をする考えのない田)	213			
他から借り入れている田は (経営を受託している田を含みます。)	214			
田の経営耕地 (211 - 212 - 213 + 214)	215			

2 樹園地の面積を記入してください。

(普通畑や牧草地を除きます。)

	前 年 (町) (反) (畝) ha a	本 年 (町) (反) (畝) ha a		
お宅で所有している樹園地は (原野化したもの等、現況が農地でないものを除きます。)	221			
うち、他に貸している樹園地は (経営を委託している樹園地を含みます。)	222			
うち、耕作を放棄した樹園地は (過去1年以上作付せず、 今後も作付をする考えのない樹園地)	223			
他から借り入れている樹園地は (経営を受託している樹園地を含みます。)	224			
樹園地の経営耕地 (221 - 222 - 223 + 224)	225			

用語の説明

耕作を放棄した田、樹園地、畑

耕作を放棄した田、樹園地、畑とは、過去1年以上作付け（肥培管理）しないで、今後も作付けする意思のない土地をいいます。
なお、長く放置され、既に原野となったものは含めません。

経営耕地

所有面積から貸付面積と耕作放棄地を差し引き、借り入れ面積を加えた面積が、経営耕地面積となります。

3 畑の面積を記入してください。
(牧草専用地を含み、樹園地は除きます。)

- お宅で所有している畑は
(原野化したもの等、現況が農地でないものを除きます。)
- うち、他に貸している畑は
(経営を委託している畑を含みます。)
- うち、耕作を放棄した畑は
(過去1年以上作付せず、今後も作付をする考えのない畑)
- 他から借り入れている畑は
(経営を受託している畑を含みます。)
- 畑の経営耕地
(231 - 232 - 233 + 234)

	前 年			本 年		
	(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)
	ha		a	ha		a
231						
232						
233						
234						
235						

4 過去1年間に使用した施設の面積を記入してください。
(水稲の育苗だけ、又は、きのご栽培だけに使った施設は除きます。)

施設とは、ビニールハウス、ガラス室などの施設で、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。

	前 年			本 年		
	m ²			m ²		
241						

5 販売目的で作付けした水稲の作付面積を記入してください。
(作付のべ面積を記入してください。けい畔は含めません。)

販売目的として作付けたものを一部自給向けにした場合は、自給分も含めた面積を記入してください。

	平成14年産水稲			平成15年産水稲		
	(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)
	ha		a	ha		a
251						

【3】 販売目的で飼っている家畜の頭(羽)数を記入してください。
(ブロイラーは、過去1年間の出荷羽数を記入してください。)

平成16年1月1日現在

万 千 百 頭(羽)

乳用牛 (さく乳目的で飼っている牛。)	301					
肉用牛 (肉用として飼っている乳用種を含みます。)	302					
豚 (子取り用めす豚も含みます。)	303					
採卵鶏 (種卵用にわとりも含みます。)	304					
ブロイラー (過去1年間に出荷した羽数です。)	305					

【基本指標番号】

取りまとめセンター等	農 家

【4】農作業の請負・請け負わせ

1 平成15年産水稲作の請け負わせについて記入してください。

(経営を委託したものは耕地の貸付けとなり、ここには含めません。)

(該当するものすべてに○をつけてください。)

すべての作業とは、「育苗」、「耕起・代かき」、「田植」、「防除」、「稲刈り・脱穀」、「乾燥・調製」のすべてをいいます。

		作業別に請け負わせた						
		す べ て の 作 業 を 請 け 負 わ せ た	育 苗	耕 起 ・ 代 か き	田 植	防 除	稲 刈 り ・ 脱 穀	乾 燥 ・ 調 製
前年	410	1	1	1	1	1	1	1
本年	411	1	1	1	1	1	1	1

2 平成15年産水稲作の請け負い面積を記入してください。

(経営を受託したものは耕地の借入となり、ここには含めません。)

		前 年			本 年			どんな形で 請け負いましたか (どちらかを○で囲みます)	
		(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)	個人で	受託組織な どの仕事で
		ha	ha	a	ha	ha	a		
すべての作業を請け負った	全作業	421						1	2
作業別に請け負った	育苗	422						1	2
	耕起・代かき	423						1	2
	田植	424						1	2
	防除	425						1	2
	稲刈り・脱穀	426						1	2
	乾燥・調製	427						1	2

3 過去1年間の農作業の請け負いによる料金収入を記入してください。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

水稲作以外の農作業の請け負いによる料金収入も含めた合計を記入してください。

	収入なし	一億円以上														
		一 五 万 円 未 満	一 五 〇 万 円	五 〇 〇 万 円	一 〇 〇 〇 万 円	一 〇 〇 〇 〇 万 円	二 〇 〇 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〇 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〇 〇 〇 〇 万 円	五 〇 〇 〇 〇 〇 〇 万 円	一 億 円	一 億 円	一 億 円	一 億 円	一 億 円
前年	430	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
本年	431	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

【5】 農産物の販売

1 過去1年間の農産物の販売金額(粗収益)の合計は
どれくらいですか。

(畜産物、圃、栽培きのこも含みます。)

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

		一 五 万 円 未 満	一 五 〇 〇 万 円	一 〇 〇 〇 〇 万 円	二 〇 〇 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〇 〇 万 円	五 〇 〇 〇 〇 万 円	七 〇 〇 〇 〇 万 円	一 〇 〇 〇 〇 〇 万 円	一 五 〇 〇 〇 〇 万 円	二 〇 〇 〇 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〇 〇 〇 万 円	五 〇 〇 〇 〇 〇 万 円	一 億 円 以 上		
前年	510	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
本年	511	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

2 過去1年間の農産物の部門別販売金額の順位と
その割合はどれくらいですか。

(過去1年間に農産物の販売のある農家のみ記入してください。)

総販売金額に対する割合を記入してください。

どの部門の販売金額(粗収益)が多かったか、1位、2位、3位の部門に○印をつけてください。
同じ割合の場合には作付面積の多い方を上位にしてください。

	前年	前年			割	本年			割
		1位	2位	3位		1位	2位	3位	
水稲・陸稲	521	1	2	3		1	2	3	
麦類	522	1	2	3		1	2	3	
雑穀・いも類・豆類	523	1	2	3		1	2	3	
工芸農作物 (たばこ、茶、さとうきびなど)	524	1	2	3		1	2	3	
露地野菜	525	1	2	3		1	2	3	
施設野菜	526	1	2	3		1	2	3	
果樹類 (露地及び施設栽培)	527	1	2	3		1	2	3	
花き・花木 (露地及び施設栽培)	528	1	2	3		1	2	3	
その他の作物 (芝、種苗、栽培きのこ類など)	529	1	2	3		1	2	3	
酪農	530	1	2	3		1	2	3	
肉用牛 (肉用として飼っている乳用種を含みます)	531	1	2	3		1	2	3	
養豚	532	1	2	3		1	2	3	
養鶏 (ブロイラーを含みます)	533	1	2	3		1	2	3	
養蚕	534	1	2	3		1	2	3	
その他の畜産 (養蜂を含みます)	535	1	2	3		1	2	3	

【基本指標番号】

取りまとめ センター等	農 家			
:	:	:	:	:

総務省承認	No. 23042
承認期限	平成16年 3月31日まで

【基本指標コード】(職員記入欄)



農林水産省

取りまとのセンター番号	事業体番号	抽出層

コード区分	調査対象区分	標本区分	組織形態	協業経営体	設立年次	主部門
0						

農業構造動態調査

農家以外の農業事業体調査票

(平成16年1月1日現在)

この調査は、新たな農業の担い手として期待される農業法人等の農業生産構造及び就業構造に関する動向を把握し、農政の企画・立案、推進等に必要な基礎資料とすることを目的として実施しています。

この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり課税等の資料に用いることは、法律で固く禁止されていますので、是非ありのままをお答えの上、同封の返信用封筒にて返送願います。

調査票の記入に関してご不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡願います。

事業体名:	
記入された方のお名前:	
連絡先:電話番号	FAX番号

問い合わせ先

本調査についてのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

太線の枠の中を記入してください。
 図の部分に出力されているのは、前年値(平成15年調査値)です。記入する際の参考としてください。
 (今回、初めて調査にご協力いただく事業体につきましては、前年値欄は空欄となりますが、ご容赦ください。)

【1】土地についておしえてください。(平成16年1月1日現在)

1 田の土地面積を記入してください。(転作田を含みます。)

		前年値		(町)(反)(畝)	
		ha	a	ha	a
他に貸付けている田、耕作放棄した田は含みません。	事業体が所有している田	111			
期間借地(二作以上した田で、一作分だけ借りたもの)は含みません。	他から借り入れている田	112			

2 樹園地の土地面積を記入してください。

		前年値		(町)(反)(畝)	
		ha	a	ha	a
果樹、茶、桑などを1a以上まとめて肥培管理しているものをいいます。	事業体が所有している樹園地	121			
	他から借り入れている樹園地	122			

3 畑の土地面積を記入してください。(牧草地を含みます。)

		前年値		(町)(反)(畝)	
		ha	a	ha	a
他に貸付けている畑、耕作放棄した畑は含みません。	事業体が所有している畑	131			
期間借地(二作以上した畑で、一作分だけ借りたもの)は含みません。	他から借り入れている畑	132			

【2】過去1年間に事業体を使用した施設の面積を記入してください。

		前年値		m ²	
		m ²		m ²	
施設とは、ビニールハウス、ガラス室などの施設で、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。水稲などの育苗だけに使ったものは除きます。		200			

【3】過去1年間に、水稲、麦類、大豆、飼料作物のいずれかを作付けしましたか。作付けした品目の面積を記入してください。

		前年値		(町)(反)(畝)	
		ha	a	ha	a
デントコーン、牧草等の作物の作付延べ面積を記入してください。自家仕向用のものを含みます。ただし、放牧地や牧草専用地の面積は除きます。	水稲	301			
	麦類	302			
	大豆	303			
	飼料作物	304			

【4】事業体が飼養している家畜の頭(羽)数を記入してください。(平成16年1月1日現在)(ブロイラーは、過去1年間の出荷羽数を記入してください。)

		前年値		頭(羽)			
		万	千	百	十	頭(羽)	
乾乳中の牛、種牛、将来搾乳する予定の子牛も含みます。	乳用牛	401					
子取り用めす牛、肉用として飼っている乳用種も含みます。	肉用牛	402					
子取り用めす豚も含みます。	豚	403					
種卵用を含みます。	採卵鶏	404					
過去1年間に肉用として出荷した羽数を記入してください。	ブロイラー	405					

【5】農作業従事者数についておしえてください。

過去1年間に農作業を行った人数を日数別に記入してください。

目安として、1日は8時間とし、半日ずつ働いたら2日で1日とします。
事務管理に従事した人も含みます。

	前年値	男(人)	前年値	女(人)
1~29日	511		512	
30~59日	521		522	
60~99日	531		532	
100~149日	541		542	
150~199日	551		552	
200~249日	561		562	
250日以上	571		572	

【6】農作業の請け負いについておしえてください。

1 過去1年間の農作業の請け負いによる料金収入の合計を○で囲んでください。

請負料金として受け取った額の合計です。経費を差し引いた所得のことではありません。

収入なし	一五万円未満	一五〇〇〇万円	五〇〇〇〇万円	一〇〇〇〇〇万円	二〇〇〇〇〇万円	三〇〇〇〇〇万円	五〇〇〇〇〇万円	七〇〇〇〇〇万円	一〇〇〇〇〇〇万円	一五〇〇〇〇〇万円	二〇〇〇〇〇〇万円	三〇〇〇〇〇〇万円	五〇〇〇〇〇〇万円	一億円以上	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
前年値															
610															

2 過去1年間に請け負った水稲作作業の面積を作業種類別に記入してください。

前年値 (町)(反)(畝)
ha a ha a

育苗から乾燥調製まで一貫請け負いましたものです。

全作業請負	620				
-------	-----	--	--	--	--

苗代の面積ではなく、その苗を植えた面積です。10a当たり植付枚数から逆算した概数値で結構です。

(部分的に請け負った作業)					
育苗	621				
耕起・代かき	622				
田植	623				
防除	624				
稲刈り・脱穀	625				
乾燥・調製	626				

同じほ場で2回以上防除した場合は、1回分の面積だけ記入してください。

乾燥・調製した米が作付けされていた面積です。10a当たり収量から逆算した概数値で結構です。

取りまとめ センター等 番号	事業 番号	体 号

【7】農産物の販売についておしえてください。

1 過去1年間の農産物販売金額(粗収益)の合計を○で囲んでください。

農産物の売上額の合計です。経費を差し引いた所得のことではありません。

	販売なし	一〇〇万円未満	一〇〇万円～三〇〇万円	三〇〇万円～五〇〇万円	五〇〇万円～一〇〇〇万円	一〇〇〇万円～三〇〇〇万円	三〇〇〇万円～五〇〇〇万円	五〇〇〇万円～一億円	一億～三億円	三億～五億円	五億円以上
前年値	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
710	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

2 過去1年間の農産物販売金額の中で、金額が多かった順に1位から3位まで部門を○で囲み、総販売金額に対する割合を記入してください。

(割合が同じ場合は、作付面積の多い方を上位にしてください。)

		前年値				割合				
		1位	2位	3位	割合	1位	2位	3位	割合	
青刈り稲を飼料用等に販売したものは除きます。	水稲・陸稲	721	1	2	3		1	2	3	
	麦類	722	1	2	3		1	2	3	
たばこ、茶、さとうきび、てんさい、なたね、オリーブなどが該当します。らっかせいは「雑穀・いも類・豆類」に入れてください。	雑穀・いも類・豆類	723	1	2	3		1	2	3	
	工芸農作物	724	1	2	3		1	2	3	
種苗類やきのこ類は施設栽培したものであってもここには含めず、「その他の作物」に入れてください。	露地野菜	725	1	2	3		1	2	3	
	施設野菜	726	1	2	3		1	2	3	
芝、種苗・苗木、飼料用作物、栽培きのこ類などが該当します。	果樹類 (露地及び施設栽培)	727	1	2	3		1	2	3	
	花き・花木 (露地及び施設栽培)	728	1	2	3		1	2	3	
肉用として販売した乳用種を含みます。	その他の作物	729	1	2	3		1	2	3	
	酪農	731	1	2	3		1	2	3	
ブロイラーを含みます。	肉用牛	732	1	2	3		1	2	3	
	養豚	733	1	2	3		1	2	3	
馬、めん羊、やぎ、うさぎ、うずら、はちみつ、繭などが該当します。	養鶏	734	1	2	3		1	2	3	
	その他の畜産	735	1	2	3		1	2	3	

総務省承認	No. 23043
承認期限	平成16年 3月31日まで

【基本指標コード】(職員記入欄)

秘 農林水産省

レコード区分	調査対象区分	標本区分	組織形態	【基本指標コード】(職員記入欄)		
				取りまとめセンター番号	事業体番号	抽出階層
0						

農業構造動態調査 農業サービス事業体調査票

(平成16年1月1日現在)

この調査は、新たな農業の担い手として期待される農業サービス事業体の農業生産構造及び就業構造に関する動向を把握し、農政の企画・立案、推進等に必要な基礎資料とすることを目的として実施しています。

この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり課税等の資料に用いることは、法律で固く禁止されていますので、是非ありのままをお答えの上、同封の返信用封筒にて返送願います。

調査票の記入に関してご不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡願います。

事業体名:	
記入された方のお名前:	
連絡先: 電話番号	FAX番号

問い合わせ先

本調査についてのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

太線の枠の中を記入してください。
 ■の部分に出力されているのは、前年値(平成15年調査値)です。記入する際の参考としてください。
 (今回、初めて調査にご協力いただく事業体につきましては、前年値欄は空欄となりますが、ご容赦ください。)

【1】事業体の概要についておしえてください。

1 事業体は農家集団ですか。農家集団の場合は構成農家数を記入してください。

(いずれかを○で囲んでください。)

農作業に参加していない農家であっても、構成農家の一員になっていれば構成農家数に含めます。

	農家集団 ではない	農家集団 である		構成農家数
100	1	2	101	

2 農作業を請け負った地域のうち、主な範囲と最も遠かった範囲をそれぞれ○で囲んでください。

		農業 集落内	旧市区 町村内	市区 町村内	都府県内 (支庁内)	都府県外 (支庁外)
主な範囲	前年値	1	2	3	4	5
	121	1	2	3	4	5
最遠方範囲	前年値	1	2	3	4	5
	122	1	2	3	4	5

【2】農作業の請負料金収入についておしえてください。

1 過去1年間の農作業の請け負いによる料金収入の合計を○で囲んでください。

水稲作以外の作業を含めた請け負わせ側から受け取った料金の合計です。
 (経費を差し引いた所得のことではありません。)

		15万円 未満	15 ~ 50 万円	50 ~ 100 万円	100 ~ 200 万円	200 ~ 300 万円	300 ~ 500 万円	500 ~ 700 万円	700 ~ 1千万 円	1千~ 1500 万円	1500 ~ 2千万 円	2千 ~ 3千万 円	3千 ~ 5千万 円	5千万円 ~ 1億円	1億円 以上
前年値		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
210		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

2 過去1年間の農作業請負料金収入の中で、金額が多かった順に1位から3位まで部門を○で囲み、請負料金収入の合計に対する割合を記入してください。

割合が同じ場合は、請負面積
 が大きい方を上位にしてくだ
 さい。

		前 年 値							
		1位	2位	3位	割	1位	2位	3位	割
水稲作	221	1	2	3		1	2	3	
麦作	222	1	2	3		1	2	3	
大豆作	223	1	2	3		1	2	3	
飼料作物	224	1	2	3		1	2	3	
その他	225	1	2	3		1	2	3	

【3】事業体の作業従事者についておしえてください。

1 過去1年間に農作業に従事した人数を日数別に記入してください。

目安として、1日は8時間とし、半日ずつ働いたら2日で1日とします。
 水稲作以外の作業や事務管理に従事した人も含みます。

	前年値	男(人)		前年値	女(人)	
1~29日	311			312		
30~59日	321			322		
60~99日	331			332		
100~149日	341			342		
150~199日	351			352		
200~249日	361			362		
250日以上	371			372		

2 過去1年間に水稲作作業で機械を操作した人数を日数別に記入してください。

目安として、1日は8時間とし、半日ずつ働いたら2日で1日とします。

	前年値	(人)	
1~9日	301		
10~29日	302		
30~59日	303		
60~99日	304		
100日以上	305		

【4】 水稲作の作業請負についておしえてください。

山形県 センター等 番号	事業体 番号

- 1 過去1年間に、育苗から乾燥・調製までの全作業を一貫して請け負った水稲作作業について記入してください。

事業体が農家集団の場合は、事業体の農作業に全く従事しない構成農家分を含めて記入してください。

		全作業を請け負った戸数 戸	請け負った実面積(町) ha
前年値			
411			412

- 2 過去1年間に請け負った水稲作作業のうち、部分請負作業について記入してください。

- (1) 水稲作作業を部分的に請け負った戸数を記入してください。

事業体が農家集団の場合は、事業体の農作業に全く従事しない構成農家からの請負分を含めて記入してください。

		部分作業を請け負った戸数 (実戸数) 戸
前年値		
420		

- (2) 請け負った戸数と実面積を作業種類別に記入してください。

同じ圃場で同じ作業を2回以上行った場合は、1回分の面積だけ記入してください。

苗代の面積ではなく、植え付けた面積を記入してください。
10a当たりの植え付け枚数等から逆算した概数値で結構です。

乾燥・調製した米が作付けされていた面積を記入してください。
10a当たりの収量から逆算した概数値で結構です。

		請負戸数 戸		請負面積(実面積) (町) ha	
部分 作 業 の 種 類	育 苗	前年		前年	
		431		432	
	耕起・代かき	前年		前年	
		441		442	
	田 植	前年		前年	
		451		452	
防 除	前年		前年		
	461		462		
稲刈り・脱穀	前年		前年		
	471		472		
乾 燥・調 製	前年		前年		
	481		482		

総務省承認	No.23487
承認期限	平成16年3月31日まで

【基本指標番号】	
取りまとめセンター等	農 家

【抽出区分】	
経営組織	農業地域

秘

農林水産省

農業構造動態調査 離農世帯調査票

(平成16年1月1日現在)

この調査は、農業を取り巻く諸情勢が著しく変化する中で、離農された世帯の実態を把握し、これからの農政に必要な基礎資料とすることを目的として実施しています。

この調査から得られる調査結果は、外に漏らしたり課税等の資料には絶対にはいたしませんので、是非ありのままをお答えください。ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、記入には濃い黒えんぴつを使用し、下記の記入例を参考にしてください。

【○の記入例】

【数字記入例】

①	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



記入は濃い黒えんぴつで

お宅の住所
世帯主の氏名
電話番号

調査員氏名：

電話番号：

本調査についてご意見・ご要望があればご記入ください。

1 経営主だった方が農業を開始した年次を記入してください。

(該当する元号の番号を○で囲み、年次を記入します。)

	昭和	平成	年
601	1	2	

2 離農した主な理由を記入してください。(複数回答)

(該当する番号をすべて○で囲みます。)

	主たる農業従事者が高齢化したため	病气や介護等により、農業が続けられなくなったため	相続したが農業を続ける余力がないため	専念したため	農業以外の仕事に就職又は農業では十分な収入が得られないため	農業は時間的な制約を受けることが多いため	周辺や住民の苦情等、地域環境が悪化したため	経済的な理由により、農地や施設等を売却したため	施設や機械を更新してまで続ける気がしなかったため	その他
602	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3 離農に当たって、耕地の処分量を、その方法別に記入してください。

(町) (反) (畝)
ha a

前年の経営耕地面積	603								
-----------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

(町) (反) (畝)
ha a

農地をそのまま売却した	604				
農地をそのまま貸し付けた	605				
農地を非農地に転用した	606				
借入地を返した	607				
農地をそのまま放置(放棄)している	608				
その他	609				

4 離農に当たって、使用していた施設・機械の主な処分方法を記入してください。

(該当する番号のいずれか1つに○で囲みます。)

使用していた施設とは、ビニールハウス、温室、畜舎、倉庫等をいいます。

使用していた機械とは、トラクター、田植機、コンバイン等をいいます。

		他の農家等に貸し付けた	他の農家等に売却した	返却した	主に借り入れていたものを廃棄処分した	そのまま放置している	その他
施設	610	1	2	3	4	5	6
機械	611	1	2	3	4	5	6